

ヨーロッパの歴史と文化

教授 北田葉子

1. 研究内容

ヨーロッパの歴史を知ることが、現在の私たちの世界に大きな影響を及ぼしている西洋文化について知ることでもあります。この西洋文化を歴史的に研究し、西洋文明について、ひいては現代の私たちの文明についても理解を深めることがこのゼミの目的です。過去の西洋文化という二重の異文化を学ぶことによって、みなさんの視野も広がり、世界を見るための新しい「目」を作ることでもできると考えています。

歴史を研究することは、世界史を教科書で学ぶこと(そして暗記すること)とはまったく異なり、それぞれが「歴史」を作っていくことになります。そのような作業を通じて、これまで知らなかった新しい、商学の専門とは異なる学問の世界も見えてくるでしょう。

学生のみなさんが選ぶテーマは何でもかまいません。商学にも歴史にも関心がある方は商業史を、ヨーロッパの文化が好きな方は文化史を、食やファッションに関心がある方は食文化や服飾の歴史を研究してみましましょう。ヨーロッパの歴史研究は、観光業界や服飾業界を目指す人にも、役に立つでしょう。

2. ゼミの進め方

《2年次》

ヨーロッパの歴史について、高校世界史とは異なる歴史学の世界を自ら調べながら学んでいきます。学びながら、自分の関心のあるテーマを見つけていきましょう。全学年合同の夏合宿を実施する予定です。合宿ができない場合、Zoomでの勉強会を行います。

《3年次》

各自が選んだ研究テーマに沿った個人研究を行います。ここから卒論への道のりが始まります。

全学年合同の夏合宿を実施する予定です。合宿ができない場合、Zoomでの勉強会を行います。

《4年次》

春学期・夏合宿(できない場合は Zoom 勉強会)・秋学期の初めには卒論に向けた個人発表を行ない、秋学期が終わるまでに完成を目指します。

3. 教材

春学期には、服部義久・南川高志・山辺紀子編『大学で学ぶ西洋史 [古代・中世]』ミネルヴァ書房、2006年、秋学期には、小山哲・上垣豊・山田史郎・杉本淑彦編『大学で学ぶ西洋史 [近現代]』ミネルヴァ書房、2011年を使用予定です。その他の文献については、授業の中で指示します。

4. 成績評価の方法

課題への取り組み姿勢、成果報告、授業やゼミ活動への参加姿勢などから、総合的に判断します。

5. ゼミ入室試験(選考方法)

選考方法については、Oh-o!Meijiにて、後日連絡します。

6. その他・志願者へのメッセージなど

ともかくやる気のある人を歓迎します。世界史の知識については問いません。ヨーロッパの歴史と文化に関心があり、研究する意欲がある学生を求めます。

時間外活動として、可能であればヨーロッパの文化に関わる展覧会などを見に行きます。夏には合宿(または Zoom 勉強会)を行い、夏休みの成果を発表するとともに、ゼミ員の親睦を深めていきます。

ゼミは自分たちで作っていくものです。みんなでいいゼミを創り上げていきましょう。